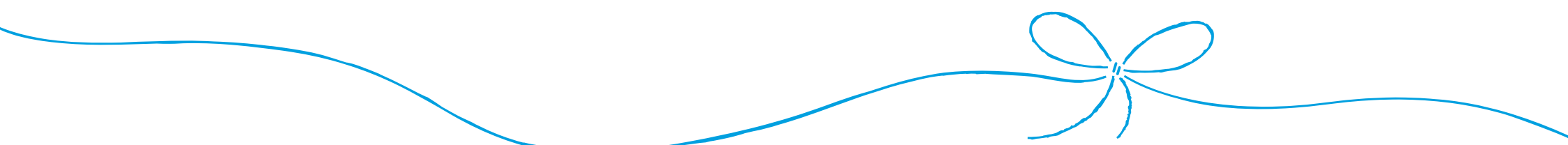


F U K U I
MIHAMA
Ribbon



つなぎあうまち、美浜。

MIHAMA

Ribbon

つなぎあうまち、美浜。

若狭湾の澄んだ海と白い砂浜、陽の光に輝く三方五湖、
緑深い森林と耳川の清流…
美浜の人々は日々の暮らしの中でこれらの美しい資源を敬い、
自然や人への思いやりの心を育んできました。
やがてまちと人、人と人との間から絆が生まれ、
強くつながりあい、惹き寄せあっています。
美浜に住む人、訪れる人、
そして今、この町勢要覧を手にするあなたを
絆というリボンで結び、
まちづくりの物語を始めたいと思います。

contents

- 03 MIHAMA Blue×Green
- 07 漕いでつながる まちとひと
- 09 この地でエネルギーをつなぎ続けるために
- 11 つなぎ継がれる 美浜の想い
- 13 みんなをつなげる みんなの居場所
- 15 まちとひと、ひととひととがつながる
- 17 想いをのせて、ひとつなぎ。
- 19 Mihama photo gallery
- 21 Mihama Map



360°
MIHAMA
TOUR



スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み込めば、360度の景色が楽しめます。

三方五湖

若狭湾国定公園を代表する景勝地。五つの湖が水路でつながり、水質や水深が異なることから、湖面の色が五色に見えます。



< Green

透き通るかのように美しい Blue と
まぶしいほどに輝く Green。
鮮やかな二つのコントラストが
心に染み入ってきます。





MIHAMA

Blue

美浜が誇る、
青と緑で織りなす景色。



360°
MIHAMA
TOUR



四季を通して堪能できる美浜の特産品。春の訪れとともに旬を迎える海の幸をはじめ、生産者が真心を込めて育てた野菜や果物など、そのどれもが名品です。美浜町の農業・漁業・加工業などの生産者が交流を重ね、知恵を出しあい、ご当地自慢のグルメや特産物が日々生み出されています。

知恵や思いをのせて 生まれる特産物



美浜町産の コシヒカリ

コシヒカリを中心に生産される美浜米は、きれいな空気と豊富な水が育む、こだわりの良質なお米です。

生産者の声



コウノトリが飛来する豊かな環境と水で育ったおいしいお米をぜひ味わってください。

長谷川 啓さん

生産者の声



自然の恵みに感謝しながら仲間たちとお米を育てています。常に進化する米作りをめざしています。

岡部 哲章さん

生産者の声



気温上昇などの影響でお米や野菜が作りにくくなっていますが、今できることを常に考え、がんばっています。

大野 克弥さん

くぼ丸なす

100年以上前から久保地区で栽培されている伝統野菜。丸々とした実とほのかな甘みが特徴です。



生産者の声

久保地域ではるか昔から作られてきたなすを「くぼ丸なす」と名付け、伝承者として栽培し続けています。



松田 賢一さん

イチゴ

嶺南の気候を活かして育てられたイチゴは、甘み・酸味・風味のそれぞれが抜群です。



生産者の声



甘くておいしいイチゴを食べる子どもたちの笑顔は、農家にとって大きな喜びで励みになっています。

今安 亮介さん

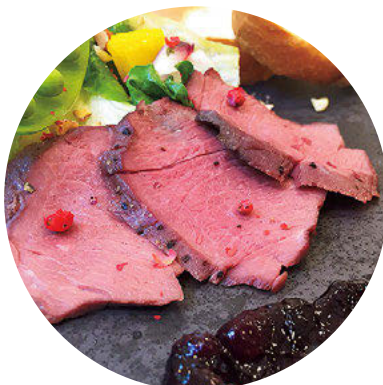
ミディトマト

皮が薄く、甘み・酸味・旨味がほどよく調和したトマト。一粒一粒大切に育てられています。



ジビエ

正しく丁寧に加工処理することでおいしく食べられるジビエは森の恵みそのもの。



Green

海・山・川・湖の恵みが詰まった
美浜のうましグルメが勢ぞろい。
作り手の真心と情熱が込められた
個性が光る逸品です。



【 若狭美浜寒ぶり・ひるが響 】

美浜町日向で水揚げされた寒ぶりの中でも厳しいブランド基準をクリアした極上品を「ひるが響」と呼びます。

「ひるが響」は漁師と漁協が協力して初めて完成するブランド品です。必ず「うまい!」と自信があります。

武田 健太さん

生産者の声



【 美浜のへしこ 】

サバなどの魚を糠漬けにし、一年以上熟成させた発酵食品で、若狭の伝統的な冬の味覚。

先代からの味を守り、食べた人が笑顔になるようなへしこ作りをめざしています。

宮下 いずみさん
高橋 節子さん

生産者の声



MIHAMA

Blue



【 しじみ 】

三方五湖の一つ、海水と淡水が入り混じる久々子湖で古くからしじみ漁が行われています。

生産者の声



久々子湖のしじみは「さっぱり味」であることが特徴です。味噌汁に入れて食べるのがおすすめです。

宮田 一由さん



【 塩熟ぶり 】

日向地区の伝統食で、塩をすり込み、コモに巻き2週間寒風にさらしたもの。生ハムのような味わいです。

【 美浜熟成魚 】

水揚げされた魚を低温で寝かせ、熟成させたものの。しっとりとした食感と旨味が味わえます。



美浜の水辺と、緑の恵み。

PICK UP!

美浜町の熟成魚文化を東京へご当地酒場「熟成魚場」

へしこをはじめとする福井県美浜町の恵みを、東京の店舗で提供しています。美浜町の食材は多くのお客様に喜ばれています。



(株)fun function
代表取締役 合掌智宏さん



漕いでつながる まちとひと

ローイングのまち、美浜。

まちのスポーツとして
つながれる
「ローイング競技」

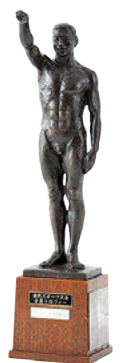
美浜町では古くから「ローイング」が親しまれており、まちを代表するスポーツとなっています。久々子湖では毎日のように中学生から高校生、社会人まで多くの選手がローイングの練習に励んでいます。美浜町でローイングが競技として誕生したのは昭和43（1968）年のこと。以来、全国大会の開催やオリンピック代表選手の選出、中学・高校でのボート部・漕艇部の設立、町民レガッタの開催などを通して、ローイングにまつわる全国の人とのつながりが生まれています。美浜町は「ローイングの聖地」として、これからも情熱と多くの感動を世界へ届けていきます。



PICK UP!

体験型観光 「若狭美浜はあつる体験」 (ローイング体験)

町民と体験者が交流を深める体験型観光として「若狭美浜はあつる体験」を実施。多くのプログラムの中でも一番人気はローイング体験で、これまでに約3,000人の学生を受け入れています。学生たちは、ボートの漕ぎ方はもちろん、チームワークの大切さを学んでいます。



国民体育大会
会長トロフィー



美浜中ボート部

昭和61(1986)年に設立。「全日本選手権競漕大会」で総合優勝を4度果たすなど、国内の実力校として名を馳せています。



大会に出場する「美浜クルー」

第23回国民体育大会開会式
(美浜北小学校グラウンド)

昭和43(1968)年9月に第23回国民体育大会が開催され、美浜町とローイングとの関わりが生まれました。この時、久々子湖が福井国体漕艇会場に選ばれました。

町でのローイングの始まり

ローイングのまちとして 愛される理由

普及と発展を遂げてきたローイング。その魅力は世界へと広がり、世代を超えて愛され続けています。

町では、平成18(2006)年3月に開催した第1回全国中学校選抜ボート大会を機に、久々子湖ボートコースを中学校の「ローイングの聖地」としました。

ローイングの聖地として



「ローイングの聖地」石碑の除幕式

町民に愛されるローイング競技

第23回国民体育大会後、昭和63(1988)年の第1回ボートサミットや平成3(1991)年の東アジア漕艇国際大会など、さまざまな大会が行われ、普及・発展につながりました。

ローイングの発展



東アジア漕艇国際大会



第20回美浜町民レガッタ

町民みんなが楽しめるスポーツとして、昭和63(1988)年から美浜町民レガッタを開催しています。毎回多くのクルーの参加があり、選手たちによる白熱のレースは大いに盛り上がっています。



美浜町エネルギー環境教育体験館
きいばす

身近にあるエネルギーの特徴を
理解し、日々の暮らしや地球環
境について「考える力」を養う体
験型の学び舎。



この地でエネルギーを つなぎ続けるために

エネルギーと共生するまち。

原子力のパイオニア
エネルギーと
共生するまちづくり

町内に立地する関西電力
(株)美浜発電所は、昭和45
(1970)年に1号機が運転
を開始しました。これは日本
の加圧水型商業炉としては最
初のもので、以来2号機、3
号機と運転を始め、原子力発
電のバイオニアとして電気を
供給してきました。半世紀に
わたって原子力と共生し、エネ
ルギーを創出するまちとして、
長期的なビジョンに基づいた
施策推進に取り組んでいます。



PICK UP!

美浜発電所から原子力の試送電 大阪万博に届いた「原子の灯」

美浜発電所1号機の建設工事は昭和42(1967)年8月から始まり、昭和45(1970)年8月に大阪万博会場へ「原子の灯」を試送電(1万kW)し、原子力の時代を切り拓きました。そして、同年11月28日に営業運転を開始しました。



美浜発電所

現在、3号機が運転する美浜発電所。1、2号機は平成27(2015)年に廃炉が決定し、現在廃止措置が進められています。

小4体験プログラム
「音の明かり〜火起こし体験〜」



小3体験プログラム「ソーラーおもちゃ」
エネルギー環境学習

子どもたちはさまざまな実験や授業を通して、生活を支えるエネルギーについて学び、科学技術に対する関心を高めています。

未来を見据え
次世代へつなぐ
美浜×エネルギー

原子力発電所が立地するまちとして、原子力発電に加えて「美浜町エネルギービジョン」に基づき再生可能エネルギーの活用と理解促進に向けた事業展開を進めています。その一つがエネルギー環境教育の充実です。美浜町エネルギー環境教育体験館「きいばす」を拠点に、さまざまな体験の機会を創出するなど、エネルギー産業最先端のまちとして、持続的な社会に貢献できる人材の育成を進めています。



JAPAN HERITAGE

日本遺産

日本遺産

荒波を越えた男たちの
夢が紡いだ異空間
～北前船寄港地・船主集落～

美浜町の早瀬、久々子、坂尻、丹生の集
落から多くの北前船が出航しました。日
本遺産構成文化財に町内では大小合わ
せて17件の文化財が登録されています。



早瀬
子供歌舞伎

つなぎ継がれる 美浜の想い

まちが誇る伝統文化。

5月3日、早瀬区内に鎮座する
日吉神社の祭礼で、小学生男
児が曳山に設けられた舞台上
で「寿式三番叟」を演じます。

約150年受け継がれる伝統

江戸時代末期、早瀬で疫病(コレラ)が流行
し、これを鎮めるため区域内の寺社に子供歌
舞伎を奉納したのが始まりといわれていま
す。以後、幾度となく中断を余儀なくされま
したが、伝統を受け継ごうと早瀬子供歌舞伎
保存会が立ち上がり、150年以上にわたって
継承されています。



早瀬子供歌舞伎と 日本遺産「北前船」の深いつながり



早瀬地区は日本海に面し、北前船の廻船
業や魚介類の仲買業によって、海上交通
の要衝として栄えました。子供歌舞伎を行
うため、曳山を作る際には、お金が集まり
すぎて困ったという記録が残っています。

←丹生 金毘羅神社船絵馬



気山 宇波西神社例大祭



宮代 彌美神社例大祭



日向 水中綱引き

その年の大漁を願い、運河の両岸に結ばれた綱をどちらが早く引きちぎるかを競う神事。極寒の中、運河に飛び込み、威勢のよい掛け声とともに大綱を引っ張りあいます。



佐田 織田神社例大祭

三つの王の舞

五穀豊穡や氏子の安寧を祈る神事で、彌美神社、織田神社、宇波西神社の三つの神社で奉納されています。真っ赤な装束に鼻高面、鉾を身に付けた舞い手が笛や太鼓の囃子で優雅に舞います。

それぞれの地域で
つながれてきた
伝統文化

美浜町では人の心と心を結ぶ伝統の祭りや行事が一年を通して盛んに行われています。地域に受け継がれてきた文化や貴重な行事は、歴史文化を今に伝え、地域に対する誇りや愛着の醸成につながっています。これらの祭礼行事には多くの人が関わり、古くから大切に守られてきました。今も伝統を継承する人によって、世代を超えて受け継がれています。

菅浜 精霊船



ご先祖を供養するための行事。8月のお盆に、茅・麦わらなどで作る船にお供え物を一緒に乗せ、ご先祖を送り出します。

PICK UP!

伝統を次世代へ
受け継いできた想いをのせて

早瀬の里に先人から受け継がれてきた文化と歴史を守り続けることが大切だと思います。次の世代に地域をつなぐ架け橋になれば願っています。



子供歌舞伎保存会
橋本 慎一さん



三方五湖ネイチャークルーズ

国内初となる再生可能エネルギーで航行する電池推進遊覧船で、美しい三方五湖をめぐる。



若狭湾の眺望が眼下に広がるレインボーライン山頂公園をはじめ、農林水産物直売所を有する道の駅「若狭美浜はまびより」、生涯学習の拠点「なびあす」など、人が集い、つながるスポットが町内に多くあります。今日も多くの人が訪れ、美浜町の多彩な資源とふれあうことで、人の輪がつながり、いきいきとした笑顔が生まれています。

たくさんの人が集いにぎわう場所

MIHAMA SPOT

みんなをつなげる みんなの居場所



レインボーライン山頂公園

レインボーラインは美浜町から梅丈岳山頂を経て若狭町へ至る全長約11kmの観光道路。展望台からは若狭湾と三方五湖が一望できます。

PICK UP!

まちとまちがつながる、
北陸新幹線金沢～敦賀間 開業

令和6年3月、
北陸新幹線金
沢～敦賀間が
開業し、東京
～敦賀間は約
3時間で結ばれています。美浜町からも
甲信越や北関東へのアクセスが便利に
なり、文化や経済などの交流に期待が
ふくらんでいます。



JR美浜駅前広場モニュメント

駅側から見ると「AMAHIM」と読める
モニュメント。「AMA」はスペイン語で
「愛する」、「HIM」はドイツ語で「我が
家」を意味します。

みはまの市場
農林水産物直売所



若狭国吉城歴史資料館

戦国時代の山城である国吉城
址と、その城下町として造られ
た佐柿の歴史的な町並みを紹
介しています。



美浜町にぎわい交流センター
これから
美浜未来想作所まほら

コワーキングスペースやシェアキッチンな
どが設けられたコミュニティ拠点です。



美浜町生涯学習センター
なびあす

「ホール」「公民館」「図書館」の
3つの機能を有している、複合
型の生涯学習拠点施設です。



道の駅若狭美浜 はまびより

道の駅「若狭美浜はまびより」は、農
林水産物直売所や地元食材を使っ
たレストラン、カフェなどがあり、「美
(うま)し美浜」を堪能できます。



道の駅 若狭美浜
はまびより



はまカフェ
pasta&pancake



若狭美浜HAMABERRY
～いちごの郷みはま～

味にこだわった感動のいちごをお
届けする農園。多品種の中からお
気に入りの一粒を見つけられます。





PICK UP!

美浜らしいにぎわいづくり みはまシナプスプロジェクト

町が住民参加型の施策として進めるもので、住民によるワークショップや小中学生が遊びの中でまちづくりに関わる学習プログラムなどを実施。学びを軸とした「にぎわい創出」をめざし、取り組んでいます。



みはまシナプスプロジェクト

美浜町公設塾 放課後教室 サン

県内初、町が設立した塾で、学習塾や学校の授業の枠にとどまらないユニークな活動を通じて、子どもたちの積極性や自主性を育んでいます。



みはまシナプスプロジェクト



学びコミュニティ Kai

高校生が地域づくりを考える実践的な学びと集いの場。新たな挑戦や学びを通じて、自分を知り、学びの深め方を知ることで、自らの可能性を広げることができます。



MIHAMA PROJECT

まちとひと、 ひととひととがつながる



○ 学校主体のまちづくり



ふるさと美浜 元気フォーラム

美浜町内3小学校が共通するテーマで町内を探求し、発見した魅力や課題の解決策を町民に発表する場。児童たちのまちへの想いがあふれます。



集落元気プラン

各集落の将来にわたる運営計画の策定を支援する集落元気プラン推進事業補助金制度を設立しています。

美しいまち・美浜を舞台に、多世代にわたり多くの人がさまざまな分野でふるさとを元気づける活動に取り組んでいます。今後の集落の将来を見据えた「集落元気プラン」の策定や、著名人を招いて行われるスポーツイベント、美浜らしいにぎわいを創出する「みはまシナプスプロジェクト」など、一人ひとりの活躍の場が広がっています。

にぎわい創出、まちを盛り上げる人々

美しい浜プロジェクト

美浜町が誇る「美」しい「浜」を守るための事業で、清掃活動の省力化や企業連携、町民の環境美化意識向上などに取り組んでいます。



チアアップミハマとは

美浜町外に住む、町を愛する方々を認定登録し、さまざまな応援活動などに参加いただく交流ウェブサイトプロジェクト。

みはま応援クルー

町が公認登録する「町外に住みながらも美浜町を愛し、応援してくださる方」のことで、まちづくりのパートナーです。

詳しくはこちらのホームページから



五木ひろしまラソン

美浜町出身で名誉町民の歌手・五木ひろしさんと町が立ち上げたイベント。毎年5月、多くの参加者がすがすがしい若狭の海岸線を快走します。

風光明媚な水晶浜を臨むコースを走るのとても気持ちが良いです。ぜひ一度お越しください！



歌手・五木ひろしさん

わたしにとっての美浜町

美浜町は第二の故郷。妻と猫と鶏とポニーと一緒に毎日楽しく過ごしています。その気になれば自分の理想を具現化できるまちだと思います。

Ribbon Person 3

“ポニーを飼える家を探して美浜町へ”

(移住者)
山野 正憲さん



{ 74(なまひとつなぎ) }

Q. 美浜町を移住先に選んだ理由はなんですか。



A. 「自宅でポニーを飼いたい」という妻の夢を叶えるため家を探し、美浜町に出会いました。美浜町以上の場所は他にないと今は思います。

わたしにとっての美浜町

子どもの頃から海や湖が好きで泳いだり、山に登ったりしました。今も自然がいっぱい。湖で鳥がくつろいでいる風景も魅力的です。

Ribbon Person 4

“ふれあいサロンで活動中”

(定住者)
佐竹 加代さん



{ 74(なまひとつなぎ) }

Q. 地域の活動を通じて伝えたいことはなんですか。



A. ボランティア活動を通して楽しく過ごしながら、美浜町のお手伝いをしています。みなさんも一日一日を楽しく過ごしましょう！

わたしにとっての美浜町

海と山の恵みが詰まった魚や野菜、お米、へしこなどがとてもおいしいです。文化や伝統があって、静けさと力強さが共存しています。

Ribbon Person 2

“生まれも育ちも美浜町”

(美浜町公設塾
放課後教室サン塾生)
木村 衣那さん



{ 74(なまひとつなぎ) }

Q. 美浜町で挑戦してみたいことはなんですか。



A. 地元の漁師さんと漁に出て、とれたての魚をその場で調理して食べてみたいです。あと、三方五湖をぐるっと一周サイクリングしたいです。

わたしにとっての美浜町

「いつか湖や海の近くで猫と穏やかに暮らしたい」という夢があり、結婚を機にUターンしてきました。美浜町はまさに理想のまちです。

Ribbon Person 1

“地元食材を使ったカフェを”
オープン予定

(移住者)
川嶋大輔さん・千紘さんご夫婦



想いをのせて、 by Ribbon Person ひとつなぎ。

人から人へ、心から心へとつながっていく、まちへの想い。
あなたにとって大切な美浜町のこと、教えてください。



わたしにとっての美浜町

昔から変わらない自然にとっても幸せを感じています。今は陶芸教室をしています。美浜町は何歳からでも挑戦できるまちです。



Ribbon Person 9

“美浜町で暮らして85年”

(北前船舶主御子孫)
中西 從介(つぐゆき)さん

{ 74(なまひつなぎ) }

Q. 若者に伝えていきたいことはありますか。



A. 私たちがとやかく言うことはありません。それぞれの想いを持って自分のやりたいことを一生懸命がんばってほしいと思います。

わたしにとっての美浜町

移住者である自分を受け入れてくれたあたたかい場所です。自然が豊かで空気や水、食べ物がおいしく、心と体を癒してくれます。

Ribbon Person 7

“川魚の養殖に興味があります”

(元地域おこし協力隊)
前田 義博さん



{ 74(なまひつなぎ) }

Q. 美浜町での暮らしを通じて伝えたいことはなんですか。



A. 海や山、湖がすぐそばにありながら、ほどよく便利。地方での暮らしのあこがれや理想を詰め込んだオススメの場所です。

わたしにとっての美浜町

私をあたかく迎えてくれる場所。多くの祭りが開催されることからわかるように、伝統を守り続ける寛大な人々が暮らしています。

Ribbon Person 6

“友人からの誘いで美浜町へ移住”

(海外からの移住者)
ロベル・オーレリさん



{ 74(なまひつなぎ) }

Q. あなたが思う美浜町の自慢はなんですか。



A. 息を呑むような景色と海の幸をもたらす豊かな自然です。地元の人々のあたたかい歓迎も誇りです。豊かな暮らしの場を共有したいです。

わたしにとっての美浜町

空気、水、お米、魚がおいしい…。私にとっての美浜町とは、あたりまえの幸せに気づかせてくれる場所です。

Ribbon Person 8

“シーグラスの魅力を発信中”

(子育て中のお母さん)
畑中 彩奈さん



{ 74(なまひつなぎ) }

Q. 休日はどんな風に過ごしていますか。



A. 子どもたちと海へ行きます。息子は泳ぎ、娘は砂遊び、私はシーグラス探し。きれいな海、砂浜をずっと未来に残していきたいです。

わたしにとっての美浜町

生まれ故郷なので、とても愛着があります。子育てや教育に関する施設も充実していて、安心して子育てできる環境が整っています。

Ribbon Person 5

“毎日がにぎやかな6人家族”

(子育て世代)
石丸 翔一さんご家族



{ 74(なまひつなぎ) }

Q. 美浜町での子育ての良いところはなんですか。



A. 自然がいっぱいの中、のびのびと育てられる環境です。地域の人もやさしく、あたたかいまちで子育てできて幸せだなあと感じています。

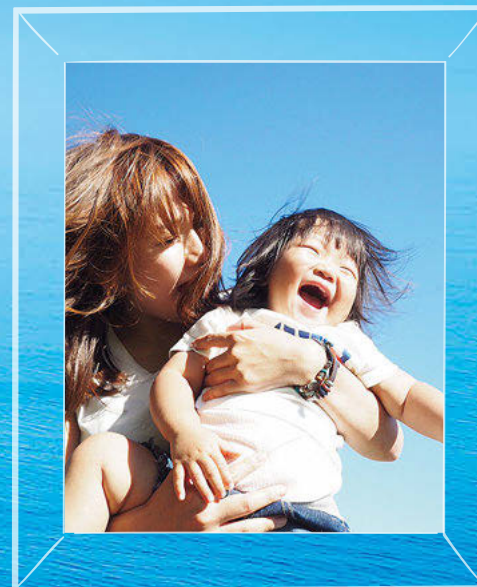
Mihama photo gallery

みはまフォトギャラリー



愛する人、

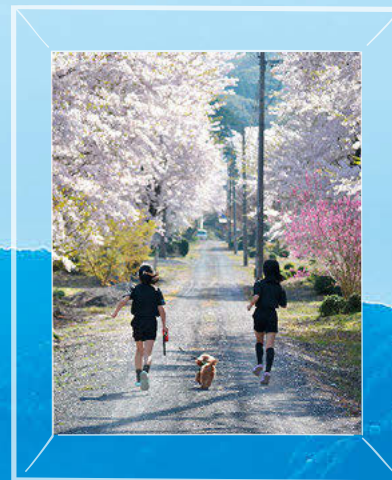
かけがえのない人と



つながっていく

日常のひとコマが、





まるで海面の
無数の光のように、

こっぴどく、も、
キラキラと輝いて

Mihama Map

美浜町の概要

美浜町は福井県の南西部に位置しています。北は日本海に面し、東は敦賀市、西は若狭町、南は滋賀県高島市に隣接しています。総面積は152.35km²で、海・山・川・湖という自然の景観に恵まれ、若狭湾や三方五湖(美浜町には久々子湖・日向湖がある)は若狭湾国定公園に指定されています。

P3~4 MIHAMA

Blue × Green

①菅浜棚田 ②新庄ブナ林 ③佐野の田園風景
④コウノトリ ⑤三方五湖 ⑥耳川 ⑦水晶浜

⑥	⑤	③	①
⑦	④	②	



① 美浜町役場



② 美浜町保健福祉センターはあとびあ



③ 美浜町生涯学習センターなびあす



④ 若狭美浜 HAMABERRY
〜いちごの郷みはま〜



⑤ 美浜町総合体育館



⑥ 美浜町エネルギー環境教育体験館さいばす



⑦ 美浜町給食センター



⑧ 美浜町健康楽膳拠点施設「こるぱ」



⑨ 道の駅若狭美浜はまびより



⑩ 美浜町歴史文化館



⑪ 若狭国古城歴史資料館



⑫ 三方五湖
ネイチャークルーズ



⑬ 美浜町にぎわい交流センター
美浜未来想作所まほら





町長あいさつ

若狭湾の澄んだ海と美しい砂浜、神秘的に輝く三方五湖や耳川の清流、豊かな田園や山々など、変化に富んだ自然景観は、私たちの誇りであり、先人から受け継がれてきた大切な財産であります。

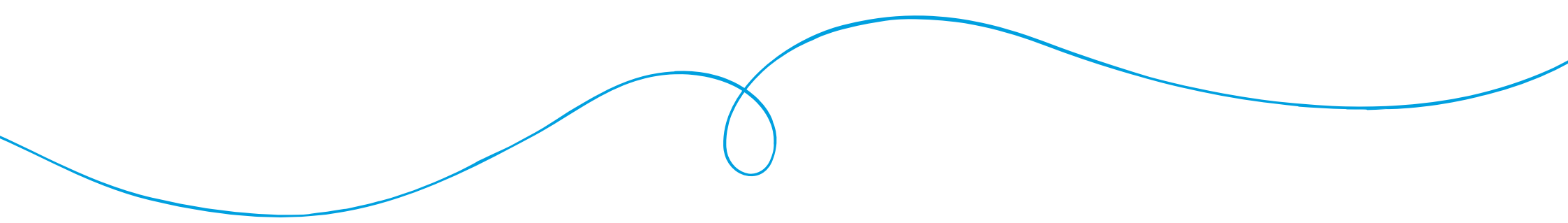
こうした自然を活かした農林水産業や商工業、観光業など地場産業が脈々と営まれ、町の経済発展の原動力となっています。また、誇りと信念をもって原子力と共生するまちづくりを進めており、国の経済発展にも大きく貢献してまいりました。

少子高齢化・人口減少が進展する中にあっても、住んでいることに幸せと誇りを実感できるまちづくり、夢と希望、活気あふれる産業を育むまちづくりをはじめ、その源泉となる「地域愛」と「シナプス」を育む人づくりなど、持続可能な協働のまちづくりに取り組んでまいります。

令和7年9月

福井県美浜町長
戸嶋 秀樹

つないできた糸は固く結ばれ、
決してほどけないものに。
これからも美浜町では、
糸をつなぎあい結び続けます。



美浜町勢要覧

発行：福井県美浜町 発行年月：令和7年9月
〒919-1192 福井県三方郡美浜町郷市25-25
TEL:0770-32-1111 FAX:0770-32-1115
<https://www.town.fukui-mihama.lg.jp>

